

財務諸表に対する注記

1. 会計方針の変更

平成22年度決算から新会計基準（平成16年10月14日公益法人等の指導会計基準に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・会社都合等による期末要支給額100%に相当する金額を計上している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品・・・定率法による減価償却を行い処理している。

車両運搬・・・定額法による減価償却を行い処理している。

(3) 消費税などの会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(4) 担保に供している資産はない。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当金	12,493,228	1,500,000	0	13,993,228
80周年式典引当金	9,000,000	1,000,000	0	10,000,000
緊急対策積立引当金	102,000,000	3,000,000	0	105,000,000
合 計	123,493,228	5,500,000	0	128,993,228

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	13,993,228	0	0	(13,993,228)
80周年式典引当金	10,000,000	0	0	(10,000,000)
緊急対策積立引当金	105,000,000	0	0	(105,000,000)
合 計	128,993,228	0	0	(123,493,228)